

私は、この基礎プログラミングがとても不安でした。なぜなら私はドミトリーに住んでいて、ドミトリーの先輩方が苦勞しているのを見ていたからです。1年時の情報リテラシーの授業は、ワードやエクセルなど高校時代までにやってきたものが多かったので、あまり苦勞することがありませんでした。そういうこともあり、やったことのない基礎プログラミングの授業を受けることに不安が多くありました。

実際に2年になり授業を受けてみると、先生がやっていることについていくのがやっとでした。そして、初めてのRubyという言葉に戸惑いました。でも、今考えてみれば、一生懸命授業を聞き、必死についていき、諦めずに取り組んで良かったです。また、わからないときにはすぐに先生に質問し、分かるまで聞いたことが良かったと思います。課題は友達と一緒にやり、お互いに教えあったりしたおかげで、自分の理解を深めることが出来ました。課題が終わらず、朝までパソコンに向かい、完成しメールを送信した時には、今まで味わったことのない達成感がありました。

はじめは、プログラミングをやる意味がわからなかったのですが、毎週授業を受け、毎回の課題をこなしているうちに、自分自身のためになっているのではないかと感じるようになりました。課題を終わらせるのに必死な毎日ですが、逆に充実した日々を送っているような気がします。また、自分のホームページを作ったり、好きなものを作ったりするのは、楽しく感じるようになりました。これからは、グループで作成する機会が増えると思います。足をひっぱらないように、そして少しでもグループに貢献できるように、頑張っていきたいと思います。みんなで良い作品を作っていきたいです。後期も基礎プログラミングがあるので、前期のうちに基礎をしっかり固めて、後期に向けていきたいと思います。